

ご寄付のお願い

当財団では、皆さまからのご寄付を受け付けております。いただいた寄付金は被災地の子どもたちの支援のため、大切に活用させていただきます。ご寄付の方法については、下記または当財団のホームページをご覧ください。

財団の活動全般へのご寄付

銀行振り込み

当財団が行う支援活動全般へのご寄付です。いただいた寄付金は、被災地の子どもたちを支援するための活動に100%役立ててまいります。

みずほ銀行 大手町営業部 (112)
普通預金 3514117

公益財団法人東日本大震災復興支援財団
（コウエキサイタンホウジン ヒガシニホンダイシンサイフコウ
ウシエンザイデン）



つながる募金

携帯電話から

SoftBankの
スマートフォンから



その他の
携帯電話から



※ SoftBankのスマートフォンをお使いの方は、携帯電話料金と一緒に寄付金をお支払いいただけます。

※ SoftBankのスマートフォン以外をお使いの方は、「つながる募金」のページ経由でクレジットカード決済となります。

特定の活動へのご寄付

「まなべる基金」銀行振り込み

本口座への寄付金は、「まなべる基金」の奨学金事業実施のため100%役立ててまいります。

みずほ銀行 大手町営業部 (112)
普通預金 3514439

公益財団法人東日本大震災復興支援財団
（コウエキサイタンホウジン ヒガシニホンダイシンサイフコウ
ウシエンザイデン）

学べるしあわせをみんなに
高校生対象給付型奨学金
「まなべる基金」

その他、クレジットカードや、LIFULL ソーシャルファンディング、Tポイントによるご寄付も受け付けております。詳細は、当財団ホームページをご覧ください。

みんなで
がんばろう <http://minnade-ganbaro.jp/shien/donation/>
日本 ●

※寄付型クラウドファンディング「Japan Giving」は「LIFULLソーシャルファンディング」に名称変更されました。

寄付の税制優遇措置について

当財団へのご寄付は、税制優遇を受けられます。



※1 個人住民税の対象は、全国一律ではありません。詳しくはお住まいの都道府県税務事務所・各市町村の徴収窓口までお問い合わせください。
※2 法人の申告については、その法人の資産や所得の金額によって限度額が異なります。各法人の経理部門または最寄りの税務署へお問い合わせください。

寄付者の皆さまからのメッセージ

東武動物公園 (東武レジャー企画株式会社)



私たちは、埼玉県宮代町にあるレジャー施設「東武動物公園」です。2011年より、開園記念日である3月28日に、ご来園いただいたお客様に入園料の代わりに「復興支援」への募金活動にご協力いただいております。毎年多くの方にご賛同いただいております。今後も皆さまと共に、継続して支援活動を応援してまいります。

2018年度にご寄付をいただいた皆さま (敬称略・50音順)

※1回の寄付金額が10万円以上で、承諾をいただいた方を掲載させていただいております。

アイティメディア株式会社	株式会社 KTS コーポレーション	SB クリエイティブ株式会社	成田山深川不動堂
秋葉 公子	国際石油開発帝石株式会社	SB C&S 株式会社	HARIO 株式会社
岩本 和広	戸塚祭 DVD 撮影隊	SB フレームワークス株式会社	ポーマイプラススタジオ
株式会社エイトラス	株式会社サンアメニティ	大東文化大学第一高等学校 PTA	株式会社メアコロン
一般財団法人青梅マラソン財団	医療法人 創和会 しげい病院	玉谷 修造	株式会社 優建築工房
岡村 拓郎	株式会社ジャックス	東武レジャー企画株式会社	特定非営利活動法人 ワーカースコープ夢コープ
第37回川口マラソン大会実行委員会	第13回 湘南国際マラソン実行委員会	第35回 戸田マラソン大会実行委員会	
久喜音楽文化振興会	鈴木 千恵子	長崎ヤングライオンズクラブ	

みんなで がんばろう ● 日本

2018年度 年次報告書

GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE RECOVERY INITIATIVES FOUNDATION



みんなで
がんばろう
日本 ●

公益財団法人東日本大震災復興支援財団

〒105-7313 東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング13階
TEL:03-6889-1560 FAX:03-6889-1568
東北事務所: 〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア23階



この印刷物は、復興支援の一環として、福島県の印刷会社に、デザイン制作および製造を依頼し発行したものです。

2019年6月発行

公益財団法人東日本大震災復興支援財団



代表理事

石 勝 義

東日本大震災から9年目を迎えました。また、新元号令和の年が始まりました。これまでを振り返ると、平成は阪神淡路大震災や東日本大震災などの地震に限らず、噴火や豪雨など、多くの災害に見舞われた時代でした。しかし、それとともに、災害ボランティアや寄付など、日本は相互助け合いの面で強く成長した時代でもあったように思います。私たちは、悲しい出来事から多くの事を学び、人との結びつき、つながりを大切にしながら、新しい時代へと向かっています。

東北では、復興道路や三陸鉄道リアス線が整備され、復興へと着実に歩みを進めています。福島避難指示が解除された地域でも戻った方々の生活が動き始めました。その一方で、避難生活の長期化による心身の健康問題など、一見ただけでは見えにくい課題は今もなお存在しており、個別的な対応が求められています。

私たちはこれからの財団の方向性について議論を始めています。これまでの支援に加え、各地の復興状況に合わせた支援や、現地支援団体が自立できるような基盤の醸成、集中復興期間後の支援体制など、数年後の未来も見据えて私たちは体制を整えなければいけないと考えています。もちろん、私たちの理念にあるように、未来ある子どもたちへの支援をすることに変わりはありません。東北のこどもたちとその家族のためにこれからも私たちは活動を続けてまいります。みなさまのお力添えを今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

当財団の理念

復興支援を通じて、
次の世代が幸せに暮らす
社会の創生に貢献する。

目指すビジョン

子どもたちが夢と
希望を育む
環境を実現する。

設立～2019年3月末まで

支援額合計

39.75億円

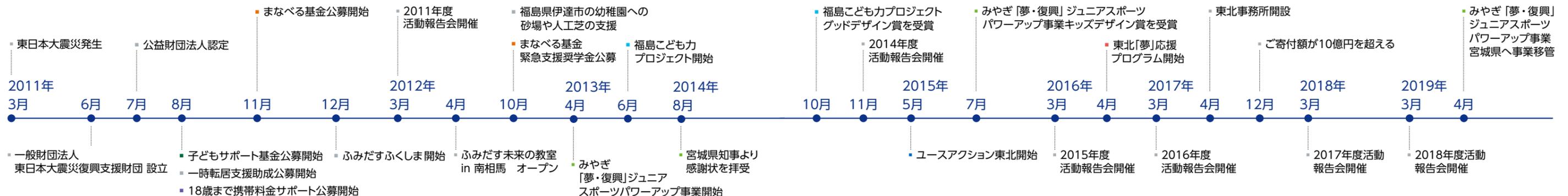
※決定した今後の支援予定額も含む。

支援者数合計

約78,370人と542の団体

※詳しい支援活動の内容は、中面をご覧ください。

活動のあゆみ



2018年度 トピックス

2018年度活動報告会を実施しました

当財団へご支援をいただいている皆さまに感謝のお気持ちをお伝えし、現在の東北について財団独自の目線で現状をお伝えすることを目的として、2019年3月6日に開催しました。

当日は、事業活動の報告、まなべる基金奨学生のスピーチ、子どもサポート基金助成先団体の報告などを行ったほか、支援先学生のフラダンス披露や、東北で活動している方のお写真や書のご紹介もしました。

参加した方からは、「東北の学生のスピーチに感動した」、「メディアでは報道されない東北の話を楽しみにしている」などのお声を頂きました。

多くの寄付者の皆さまや、関係者さまにお越しいただき、御礼や活動内容をご報告できました。ご来場いただきました皆さま、ありがとうございました。アンケートで頂戴しましたご意見は今後の開催に役立ててまいりたいと思います。



みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業が宮城県に事業移管されました



2013年4月から宮城県と共同で運営してきました本事業は、2019年3月をもって当財団の支援を終了し、4月から宮城県の事業に移管されました。

宮城県の小学4年～6年生を対象にトップアスリート

育成および復興に貢献する人材を育成することを目的に実施された本事業では、これまで500名のアカデミー生が卒業しています。複数の種目を経験し、個々の適性を見極めながら将来のオリンピック育成を目指す本事業では、現在、第一線で活躍するアスリートも多く輩出しています。

これまで当財団と構築した基盤を元に、今後は宮城県の事業として継続されます。

本事業により、「夢」と「復興」を担うリーダーがこれからの宮城県を支えていくことを期待します。

これまでご支援いただきました皆さま、ありがとうございました。引き続きご関心頂けましたら幸いです。



学べるしあわせをみんなに。

高校生対象給付型奨学金
「まなべる基金」

給付型奨学金 まなべる基金



東日本大震災の影響により家庭の経済状況が変化し、就学や進学が困難となった高校生のための、返還不要の奨学金制度です。高校入学から卒業までの間、**最大51万円**を給付しています。高校生向けの給付型奨学金制度が少ない中、進学・就学が困難な状況においても学ぶことをあきらめない高校生を応援し続けています。

支援総額 **15.80億円** 支援者数 **2,878人**

※支援総額には今後の支給予定分も含む。

連携団体
◎NPO法人ジービーパートナーズ



支援のお礼メッセージ まなべる基金

ここまで育ててくれた両親、3年間ずっと変わらず寄付をしてくださったまなべる基金の皆さまの支えのおかげで、今年の春からは夢だった東北電力の社員の一人になることができました。東北の人々に安定した電気エネルギーを送ることで地元へ貢献していきたいと考えています。支えてくださった方々のためにも立派な社会人になり、大きな自覚と責任を持ち仕事に励んでいきたいと思っています。たくさんのご支援本当にありがとうございました。
(宮城県石巻市 / 2019年3月卒)



スポーツを通じて夢を応援 みやぎ「夢・復興」 ジュニアスポーツパワーアップ事業



宮城県の小学4～6年生を対象に、スポーツを通じて復興の原動力として長きにわたり活躍できる、心身ともにたくましい人材を育てる活動を行ってきました。

※この事業は、2013年～2019年3月まで、当財団が全額事業費を支援しました
※2019年4月からは、宮城県の事業として県に移管し、宮城県スポーツ協会にて継続実施されています

支援総額 **3.8億円** 支援者数 **500人**

主催
◎みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業実行委員会
主な構成団体
◎宮城県教育委員会
◎公益財団法人宮城県スポーツ協会



支援のお礼メッセージ みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業

このアカデミーに入団できたことで、自分でも想像していなかった環境に今の自分があることに驚いています。今の自分があるのはアカデミーのおかげだと思います。素晴らしい機会を与えていただきありがとうございました。今後も目標に向かって努力を重ね、宮城の代表として、地域の人たちに力を与えられる人になれるよう頑張っていきたいと思っています。
(仙台工業高校アーチェリー部 吉田莉乃子 / 2013年卒1期生)

ふくしまスポーツキッズ発掘事業



震災後、屋外での活動を自粛してきた福島の子どもたちへ多くの運動の機会を提供し、様々な競技に挑戦することにより、体力、運動能力の向上と復興を支える人材育成に取り組めます。

支援総額 **2,181万円** 支援者数 **2,354人**

※2018年3月までの支援額。

連携団体
◎公益財団法人福島県体育協会

支援活動団体向け助成
子どもサポート基金

子どもたちの成長を支える団体の活動をバックアップ 子どもサポート基金



東北の子どもたちの支援活動に取り組むNPOやボランティア団体への助成を行っています。団体が継続して活動できるよう、**複数年にわたる助成**を行うとともに、**組織の基盤強化をサポート**し、希望を持ってたくましく成長できるような健康づくりを推進しています。

支援総額 **9.77億円** 支援件数 **349団体**

※今後の助成予定額および助成予定団体も含む。
※2018年度は前年度に助成した団体へ継続支援を実施。

助成団体のメッセージ 子どもサポート基金

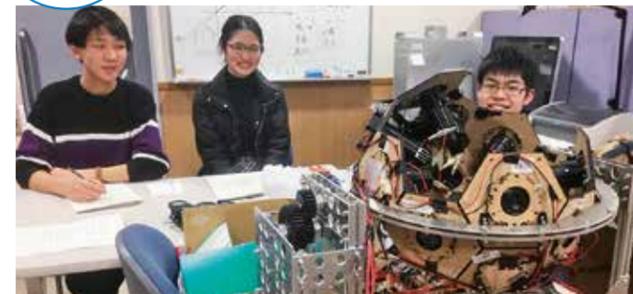
支援いただきありがとうございます。私たちは、震災後に数が増えた不登校の子どもの居場所として、フリースクールとプレーパークを開催してきました。多くの価値観と出会い、優しさに触れる中で子ども自身が「自分」を受け入れられる、そのような環境を地域の人とともに作っていきたく考えています。そしてまだ居場所を見つけれない子どもたちにも「横を向けばいつも心開ける大人がいる」地域づくりをこれからも行っていきます。

(宮城県石巻市 / 特定非営利活動法人こども∞感ぱにー)

特定非営利活動法人
こども∞感ぱにー



地域と向き合う若者の活動を支援し、東北に活気と変化を創造する ユースアクション東北



地元の復興や活性化に取り組む高校生や大学生の活動を支援しています。活動費用の助成の他、活動の実現に向けて助言や協力をしてくれる「伴走者」も紹介し、東北に更なる活気が生まれていくことを目指します。

支援総額 **404万円** 支援件数 **26件**

助成団体のメッセージ ユースアクション東北



天文学に興味を持ってもらいたいという趣旨で、小学生向けにプラネタリウムを自作し、名取市図書館で展示しました。今回のイベントを通して、名取市天文台として大きな一歩を踏み出すことができました。この先も、このあゆみを一歩一歩積み重ね、市民の声に耳を傾けながら、子どもたちが主体的に学べる「名取市天文台」を作り上げていきたいと思っています。この度は、仙台高専天文部の名取市天文台を支援していただきありがとうございました。

(宮城県名取市 / 仙台高専天文部)



自ら行動する力を育み、未来の東北を担う人材を目指す

東北「夢」応援プログラム



東北の子どもたちへ、スポーツなどの専門的な指導機会を提供し、夢や目標の実現を応援します。子どもたちは直接指導だけでなく、情報通信ツールを活用し、日本各地にいるプロコーチやチームから動画による専門指導を受け、自ら掲げた夢や目標の達成に向けて計画的に練習に励みます。子どもたちの主体的に行動する力をはぐくむことで、将来の東北を担う人材の育成を目指します。

支援総額 **8,720万円** 支援件数 **767人**

※2019年3月までの支援額。

協力団体
◎ソフトバンク株式会社
(動画指導で活用する通信機器をプロコーチなどへ貸し出し)



支援団体のメッセージ 東北「夢」応援プログラム

このプログラムを通じ、子どもたちが自分でたてた目標に向かい何を課題とし、どう取り組んだらよいか、自分で考え行動する力が付いたと思います。ご支援いただき本当にありがとうございます。

(岩手県大船渡市/明和リゾート開発株式会社)

福島こども未来塾



福島の未来を担う人材の育成を目指し、自然体験や郷土文化の学習、国際交流など、1年をかけて総合的な体験活動を提供しています。仲間と一緒に寝食を共にし、さまざまなチャレンジを重ねながら、福島の未来や自分自身の将来を描きます。

支援総額 **4,450万円** 支援者数 **155人**

※今後の支援予定額および支援予定者も含む。

主催
◎独立行政法人国立青少年教育振興機構
連携団体
◎一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION
◎NPO法人じぶん未来クラブ など



助成団体のメッセージ 福島こども未来塾

私の将来の夢は、福島のために役に立つ職業に就くことです。未来塾で福島のために活動している人を見て、自分もそういう人になりたいと思いました。今までたくさんのお話を聞いて、震災や戦争その他いっぱいの事を学びました。また、一生懸命に話をしている姿を見て、みんな福島を愛しているんだと思い、私も福島のために何かしたいと思いました。未来塾に参加して福島の復興の大切さが分かりました。私にはまだPR活動や募金しかできませんが、今できることを精一杯頑張りたいと思います。(福島こども未来塾参加 小学5年生)

当財団に関する情報を発信しています。ぜひご覧ください。

東日本大震災復興支援財団

検索



公式ホームページ
<http://minnade-ganbaro.jp/>



公式フェイスブック
<https://www.facebook.com/ganbaro.jp>



話す・つながるをサポート

18歳まで携帯料金サポート



震災で保護者を亡くした子どもたちが、身近な人々と話し、つながるためのコミュニケーションツールとして携帯電話の料金をサポートしています。子どもたちが18歳になるまでの間、電話会社に関わらず、携帯電話やスマートフォンの料金を月々1万円までお支払いし、子どもたちを含むご家族の経済的な負担を軽減します。

支援総額 **1,729万円** 支援者数 **53人**

その他の支援活動

将来、東北の復興を担う人材の育成など、他にもさまざまな支援活動を行っています

一般社団法人田部井淳子基金

被災した東北の高校生たちと夏休みに富士山に登り、自然の素晴らしさを体験してもらいながら挑戦する力や仲間と協力する力を高める

NPO法人福島SAND-STORY

福島県内で開催する親子砂遊びプログラム事業への支援

教育シンポジウム石巻実行委員会

石巻地域の、地域による教育に携わる人のためのシンポジウム

気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード実行委員会

宮城県気仙沼市の高校生を対象としたリーダーシップ育成プログラムを支援

公益財団法人福島県体育協会

福島の幼児への運動機会の提供を行う「あそんで体力アップアップ事業」を支援

小牛田高等学園フラダンス部

フラダンス部の活動を支援するとともに、財団への募金活動をしてもらう相互支援を実施

魂に響くギフトコンサートの会

音楽の力で福島県内の子どもたちの心のケアを行う活動を支援

特定非営利活動法人エムジョイ

岩手県宮古市における体力向上プログラムへの支援

南相馬市小高区小・中学校児童・生徒親の会

小・中学生のための大学生ボランティアによる学習指導

特定非営利活動法人パクト

岩手県陸前高田市を取巻く環境とニーズに沿った子どもの居場所作りを支援

はやまのふもとプロジェクト

唐桑中学校に隣接する古民家を改造して、生徒の自習室や地域とのハブになる拠点を開発

文楽・伝統芸能振興長野委員会

福島の子どもたちに伝統芸能を学び、体験してもらい心豊かなひと時を過ごしてもらう

団体概要

団体名 公益財団法人東日本大震災復興支援財団
設立日 2011年6月14日
人員構成 評議員6名、理事7名、監事2名、職員18名
評議員 寺島 実郎 一般財団法人 日本総合研究所 会長
小宮山 宏 株式会社 三菱総合研究所 理事長
村井 純 慶應義塾大学 環境情報学部長・教授
中村 伊知哉 慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 教授
藤原 和博 教育改革実践家
青野 史寛 ソフトバンク株式会社 専務執行役員 兼 CHRO/CCO

代表理事 立石 勝義
理事 荒井 優 学校法人 札幌慈恵学園 札幌新陽高等学校 校長
佐藤 大吾 LIFULL ソーシャルファンディング 代表理事
大橋 智哉 税理士法人 山田&パートナーズ マネージャー
岡本 正 銀座パートナーズ法律事務所 弁護士
所澤 新一郎
池田 昌人 ソフトバンク株式会社 人事総務統括 CSR 統括部 統括部長
監事 君和田 和子 ソフトバンクグループ株式会社 常務執行役員 経理統括
佐藤 健文 慶成監査法人 代表社員
会計監査人 有限責任監査法人 トーマツ

※2019年6月時点